

Library News



大山崎中学校図書館

令和4年 7月

本の表紙コンテスト

開催中！

図書委員会活動で【本の表紙コンテスト】を図書室にて開催しています。図書委員が選んだすてきな表紙の本を展示しています。その中からいいな、と思う表紙の本の下にシールを貼ってください。3位までの本を借りた人には特製しおりをプレゼントします。(先着10名様)
ぜひ見に来てね！



7/11(月)～20(水)

終礼後～13:30

一人5冊

9/1までに返却のこと

臨時開館日

7/27 8/4 8/23
(水) (木) (火)

10～14:00

自習に使っても
いいよ



新着本

『はじめての』 辻村深月 他

4人の直木賞作家がはじめての、というお題を出されて、YOASOBIの楽曲になることを前提に書き上げた4つの短編。

恋あり、SFパラレルワールドあり、ロボットあり、家出あり、と様々な設定の中でどれもが深〜い味わいのある小説です。

『六人の嘘つきな大学生』 朝倉秋成

本当はあの時何が起こっていたのだろうか。8年前の就活で最終選考に残った6人は一緒に内定を勝ち取るべく課題に取り組んでいたはずだった。だが、選考方法は突然変更され、内定者は一人に絞られるという。それまでの戦友が敵になった。そして、あの封筒が現れたのだ。あれは本当は誰が仕組んだことだったのか…就活って中学生にはまだピンと来ないかもせれません読む価値あり！の面白さです。2022年本屋大賞5位入選作品。

『亜ノ国へ』 柏葉幸子

伯母の遺品整理をしていた塔子は祖父の古いトランクをみつけた。開けたとたん不思議な声が聞こえ、気が付いたときには塔子は異世界へと飛ばされていた。塔子は六祝いの儀のために村を出るという6歳のムリュという女の子の付き人として生きることになったが……

児童文学作家の大御所、柏葉幸子が大人向けに書いた初の長編。あっという間に引き込まれるファンタジー感が素晴らしいです！

『夏の体温』 瀬尾まいこ

小3の瑛介はもう一ヶ月以上も入院している。中々退院許可がおりず、イライラは募るばかり。そんな時、同い年の壮太が入院してきた。二人はあっという間に仲良くなるが、壮太は検査入院で3日後には退院が決まっている。別れが決まっているのに仲良くなって仕方ない。揺れる瑛介に壮太はどこまでも明るく接するのだが……ほっとするような暖かな小学生の友情と笑っちゃうような大学生の友情、そしてたどたどしい中学生の友情の3編を収録。ほっこりしたい人におすすめの本です。



司書のひとこと…昨日の本棚から 『香君』 上・下 上橋菜穂子

ほぼ徹夜で読みふけりました。上橋菜穂子の新作、『香君』。緻密に設計され、細部までリアリティあふれるハイ・ファンタジー。そして登場人物はみなどこか一本筋の通った好ましさを持つ、上橋菜穂子にしか描けない世界です。今回は農業、植物、土といった、まさに今世界を揺るがしている食料危機の根本を問いかけるような物語です。はるか昔、神郷から<香君>がもたらしたという奇跡の穀物オアレ稲。そして、香りを嗅ぎわけて、声として感じることでできる少女アイシャ。言い伝えられている害虫オオマヨの発生によって本当に壊滅的な大飢饉が起こるのでしょくか。ドキドキが止まらないまま一気に下巻まで駆け抜けます。これぞエンタメとうなるような物語をぜひみなさんもどうぞ……